

- 問1 メダカを健康に飼うために、水槽^{すいそう}を置く場所として最も適切な場所はどこですか。
- 問2 メダカのたまごが育って子どものメダカがかかるまでの日数は、何によって変わりますか。
- 問3 たまごから生まれてすぐのメダカの子は、おなかにどのようなものを持っていますか。
- 問4 おすのメダカの「せびれ」には、どのような特徴^{とくちょう}がありますか。
- 問5 メダカを飼う水そうの置き場所として、ふさわしくないものはどれですか。
- 問6 そう眼実体けんび鏡でピントを合わせるとき、最初に行う正しい操作^{そうさ}はどれですか。
- 問7 おすのメダカのひれには、どのような特徴^{とくちょう}がありますか。
- 問8 せびれに切れこみがあり、しりびれの後ろが長く、しりびれの形が平行四辺形になっているのは、どのようなメダカの特徴^{とくちょう}ですか。
- 問9 メダカのたまごの中で、心臓^{しんぞう}や血液の流れがよくわかるようになるのは、受精してから何日目ですか。
- 問10 メダカのめすが水草にうみつける、受精したたまごのことを何といいますか。
- 問11 メダカにえさをあたえるとき、一度にあたえる量はどのようにするのがよいですか。
- 問12 メダカのたまごが受精して2日目になると、たまごの中にはどのような変化が見られますか。
- 問13 たまごからかえったばかりのメダカは、最初^{すいそう}は水槽の中でどのように過ごしますか。
- 問14 メダカを健康に飼うために、水そうを置く場所として最もふさわしいのはどのような場所ですか。
- 問15 双眼実体顕微鏡^{そうがんじつたいけんびきょう}を使って観察するとき、ものの見え方はどのようになりますか。
- 問16 メダカの受精卵^{じゅせいらん}の毛には、どのようなやくわりがありますか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え ちやくしゃにっこう 直射日光の当たらない明るい場所	メダカを飼うときは、水温を適切に保つために、直射日光の当たらない明るい場所に水槽を置きます。
問2	答え 水温	メダカのためごがかかるまでの日数は、育てる水の温度（水温）によって変わります。
問3	答え 栄養の入ったふくらみ	たまごからかえったばかりのメダカの子は、おなかに栄養の入ったふくらみ（袋）を持っています。
問4	答え 切れこみがある。	おすのメダカのせびれには切れこみがあります。しりびれは後ろが長く、平行四辺形のような形をしています。
問5	答え 日光が直接当たる明るい窓際	水そうは日光が直接当たらない明るいところに置く必要があるため、日光が直接当たる窓際はふさわしくありません。
問6	答え 右目だけのぞきながら調節ねじを回す	そう眼実体けんび鏡では、まず右目だけのぞきながら調節ねじを回してピントを合わせます。
問7	答え せびれに切れこみがあり、しりびれが平行四辺形に近い形をしている。	おすのメダカは、せびれに切れこみがあることと、しりびれが平行四辺形に近い形をしていることが特徴です。
問8	答え おすのメダカの特徴	せびれに切れこみがあることや、しりびれが平行四辺形になっていることは、おすのメダカを見分けるときの特徴です。
問9	答え 6日目	メダカのためごは成長が進み、受精して6日目になると心臓の動きや血液の流れがはっきりと見えるようになります。
問10	答え 受精卵	めすが水草にうみつける、受精したたまごのことを受精卵といいます。
問11	答え 食べ残しが出ないくらいの量	メダカのえさは、食べ残しが出ないくらいの量を考えてあたえる必要があります。
問12	答え からだのもとになる部分が見えてくる。	メダカのためごは、受精して2日目になると、たまごの中からだのもとになる部分が見えるようになります。
問13	答え 水槽の底の方でじっとしている。	かえったばかりのメダカは、おなかにある袋の養分を使って育つため、最初は水槽の底の方でじっとしています。
問14	答え 日光が直接当たらない明るいところ	メダカを飼う水そうは、日光が直接当たらない明るいところに置くのが基本です。
問15	答え 上下左右が実物と同じ向きに見える。	双眼実体顕微鏡では、上下左右の見え方は実物と同じ向きになります。
問16	答え 水草にくっつくやくわり	メダカの受精卵の毛は、たまごが水に流されないように、水草などにしっかりと付着する（くっつく）ためのやくわりがあります。

問1 メダカのひれのうち、体に^{まい}2枚あるひれは何ですか。

問2 メダカにたまごを産ませるために、おすとめすをどのように飼う必要がありますか。

問3 受精したメダカのたまごの中で、だんだんとメダカらしい^{すがた}姿に変わっていくことを何と
いいますか。

問4 メダカのメスのしりびれは、どのような形をしていますか。

問5 両目のレンズでのぞくことで、観察するものを立体的に見ることができる、倍率が20倍
から40倍の^{けんびきょう}顕微鏡を何といいますか。

問6 ^{そうがんじつたいけんびきょう}双眼実体顕微鏡を使って観察するとき、ものの見え方はどのようになりますか。

問7 めすのメダカのひれには、どのような^{とくちょう}特徴がありますか。

問8 メダカを飼育するとき、水そうを置く場所として最もふさわしいのはどのような場所
ですか。

問9 メダカのおすとめすを見分けるときに、形に注目する2つのひれは何ですか。

問10 おすとめすが体をすり合わせて、めすがたまごを産み、おすが精子を出す一連の行動を
何といいますか。

問11 メダカが最もよくたまごをうむ水温のことで、25℃ぐらいに保つのが適している、水の
あたたかさのことを何といいますか。

問12 メダカのたまごの中に、からだのもとになる部分が見えてくるのは、受精してから何日
目ですか。

問13 ^{じゆせいらん}メダカの受精卵の毛には、どのようなやくわりがありますか。

問14 メダカにたまごを産ませるために、水そうの中でいっしょに飼わなければならない組み
合わせはどれですか。

問15 せびれに切れこみがあり、しりびれが平行四辺形に近い形をしているのは、どのメダカ
ですか。

問16 メダカのたまごが育って子どものメダカがかえるまでの日数は、何によって変わります
か。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え むなびれ	メダカのひれのうち、むなびれとはらびれは2枚 <small>まい</small> ずつあり、せびれ、しりびれ、おびれは1枚 <small>まい</small> ずつあります。
問2	答え 同じ水そうでいっしょに飼う	メダカにたまごを産ませるためには、おすとめすを別々 <small>べつべつ</small> に分けるのではなく、同じ水そうでいっしょに飼う必要があります。
問3	答え たまごの中での変化	受精したたまごの中では、だんだんとメダカらしい姿 <small>すがた</small> に変化していきます。これをたまごの中での変化といいます。
問4	答え 丸みを帯びて、後ろに向かって細くなっている形	メダカのメスのしりびれは、オスのように大きくなく、丸みを帯びて後ろに向かって細くなっているのが特徴 <small>とくちょう</small> です。
問5	答え そう眼実体けんび鏡	両目で見ることで、観察するものを立体的に見ることができる顕微鏡 <small>けんびきょう</small> を「そう眼実体けんび鏡」といいます。
問6	答え 上下左右が実物と同じ向きに見える。	そうがんじつたいけんびきょう <small>そうがんじつたいけんびきょう</small> 双眼実体顕微鏡では、上下左右の見え方は実物と同じ向きになります。
問7	答え せびれに切れこみがなく、しりびれの後ろが短い。	めすのメダカは、せびれに切れこみがなく、しりびれの後ろが短くなっていることで、おすのメダカと見分けることができます。
問8	答え 日光が直接当たらない明るい場所	メダカを飼育する水そうは、日光が直接当たらない明るい場所に置くのが正しい方法です。
問9	答え せびれとしりびれ	メダカのおすとめすは、せびれとしりびれの形にちがいがあるため、これらで見分けることができます。
問10	答え メダカの産卵 <small>さんらん</small>	おすとめすが体をすり合わせて、めすがたまごを産み、おすが精子を出す行動をメダカの産卵 <small>さんらん</small> といいます。
問11	答え メダカの飼育水温	メダカが最もよくたまごをうむ水温のことを「メダカの飼育水温」といい、25℃ぐらいに保つのが適しています。
問12	答え 2日目	受精してから2日目になると、たまごの中にメダカのからだのもとになる部分が見えてきます。
問13	答え 水草にくっつくやくわり	メダカの受精卵 <small>じゅせいらん</small> の毛は、たまごが水に流されないように、水草などにしっかりと付着する（くっつく）ためのやくわりがあります。
問14	答え おすとめす	メダカにたまごを産ませるためには、おすとめすを同じ水そうでいっしょに飼う必要があります。
問15	答え おすのメダカ	せびれに切れこみがあり、しりびれが平行四辺形に近い形をしているのは、おすのメダカの特徴 <small>とくちょう</small> です。
問16	答え 水温	メダカのたまごがかかるとの日数は、育てる水の温度（水温）によって変わります。

- 問1 たまごからかえったばかりのメダカの体には、どのような特^{とくちょう}徴がありますか。
- 問2 そう眼実体けんび鏡でピントを合わせるとき、最初に行う正しい操^{そうさ}作はどれですか。
- 問3 生まれたばかりの子メダカは、しばらくエサを食べなくても生きていくことができます。それはなぜですか。
- 問4 メダカの産卵^{さんらん}が行われたすぐ後、たまごはどのようになりますか。
- 問5 たまごから生まれてすぐのメダカの子は、おなかにどのようなものを持っていますか。
- 問6 おすのメダカのひれには、どのような特^{とくちょう}徴がありますか。
- 問7 メダカのメスのしりびれは、どのような形をしていますか。
- 問8 かえったばかりのメダカの子が、生まれてから数日間はえさを食べずに過ごすことができるのはなぜですか。
- 問9 水草にうみつけられた受精卵^{じゅせいらん}を、水草ごと別の容器にうつすのはなぜですか。
- 問10 メダカを飼育するとき、えさは1日に何回あたえるのがよいですか。
- 問11 メダカのたまごを育てるとき、水温が20℃のばあい、たまごから子どものメダカがかえるまでにおよそ何日かかりますか。
- 問12 メダカを健康に飼うために、水そうを置く場所として最もふさわしいのはどのような場所ですか。
- 問13 メダカの体にある、むなびれ、せびれ、はらびれ、しりびれ、おびれなどの部分をまとめて何と^{よび}呼びますか。
- 問14 メダカのたまごの中で、心臓^{しんぞう}や血液の流れがよくわかるようになるのは、受精してから何日目ですか。
- 問15 メダカが最もよくたまごをうむ水温のことで、25℃ぐらいに保つのが適している、水のあたたかさのことを何といいますか。
- 問16 メダカにえさをあたえるとき、一度にあたえる量はどのようにするのがよいですか。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え おなかに養分の入った袋がある。 <small>ふくろ</small>	たまごからかえったばかりのメダカのおなかには、ふくらんだ袋 <small>ふくろ</small> があり、その中に育つための養分が入っています。
問2	答え 右目だけのぞきながら調節ねじを回す	そう眼実体けんび鏡では、まず右目だけのぞきながら調節ねじを回してピントを合わせます。
問3	答え おなかに育つための養分が入った袋があるから。 <small>ふくろ</small>	生まれたばかりの子メダカは、おなかにある袋の養分を使って育つため、しばらくはエサを食べなくても生きていけます。
問4	答え めすのはらにくつつく	メダカ <small>きんらん</small> の産卵のすぐ後、たまごはめすのはらにくつつきます。
問5	答え 栄養の入ったふくらみ	たまごからかえったばかりのメダカの子は、おなかに栄養の入ったふくらみ <small>ふくろ</small> （袋）を持っています。
問6	答え せびれに切れこみがあり、しりびれが平行四辺形に近い形をしている。	おすのメダカは、せびれに切れこみがあることと、しりびれが平行四辺形に近い形 <small>とくちよう</small> をしていることが特徴です。
問7	答え 丸みを帯びて、後ろに向かって細くなっている形	メダカのメスのしりびれは、オスのように大きくなく、丸みを帯びて後ろに向かって細くなっているのが特徴 <small>とくちよう</small> です。
問8	答え おなかに栄養の入ったふくらみを持っているから。	かえったばかりのメダカの子は、おなかに栄養の入ったふくらみ <small>ふくろ</small> （袋）があるため、数日間はえさを食べなくても生きていくことができます。
問9	答え 親のメダカに食べられてしまうことがあるから	受精卵 <small>じゆせいらん</small> をそのままにしておくと、親のメダカに食べられてしまうことがあるため、別の容器にうつして守ります。
問10	答え 毎日1～2回	メダカのえさは、毎日1～2回あたえるのが正しい方法です。
問11	答え 約17日	水温が20℃のときは、メダカのたまごがかかるまでに約17日かかります。
問12	答え 日光が直接当たらない明るいところ	メダカを飼う水そうは、日光が直接当たらない明るいところに置くのが基本です。
問13	答え メダカのひれ	メダカの体には、むなびれ、せびれ、はらびれ、しりびれ、おびれという「ひれ」があります。
問14	答え 6日目	メダカのたまごは成長が進み、受精して6日目になると心臓 <small>しんぞう</small> の動きや血液の流れがはっきりと見えるようになります。
問15	答え メダカの飼育水温	メダカが最もよくたまごをうむ水温のことを「メダカの飼育水温」といい、25℃ぐらいに保つのが適しています。
問16	答え 食べ残しが出ないくらいの量	メダカのえさは、食べ残しが出ないくらいの量を考えてあたえる必要があります。

- 問1 たまごからかえったばかりのメダカは、最初は水槽すいそうの中でどのように過ごしますか。
- 問2 メダカのめすが水草にうみつけれ、受精したたまごのことを何といいますか。
- 問3 メダカを健康に飼うために、水槽すいそうを置く場所として最も適切な場所はどこですか。
- 問4 かえったばかりのメダカの子が、生まれてから数日間はえさを食べずに過ごすことができるのはなぜですか。
- 問5 メダカに卵たまごを産ませるために、水槽すいそうの中に一緒いっしょにに入れておく必要がある組み合わせは何ですか。
- 問6 めすがうんだたまごに、おすが精子をかけ、たまごと精子が結びつくことを何といいますか。
- 問7 メダカのおすとめすを見分けるときに、形に注目する2つのひれは何ですか。
- 問8 たまごからかえったメダカの子どもに、かえってすぐにえさを与あたええるのではなく、2～3日してから与あたええ始めるのはなぜですか。
- 問9 受精したメダカのとまごの中で、だんだんとメダカらしい姿すがたに変わっていくことを何といいますか。
- 問10 メダカにたまごを産ませるために、水そうの中でいっしょに飼わなければならない組み合わせはどれですか。
- 問11 両目のレンズでのぞくことで、観察するものを立体的に見ることができる、倍率が20倍から40倍の顕微鏡けんびきょうを何といいますか。
- 問12 水草にうみつけれられた受精卵じゅせいらんを、水草ごと別の容器にうつすのはなぜですか。
- 問13 メダカのとまごの中で、心臓しんぞうや血液の流れがよくわかるようになるのは、受精してから何日目ですか。
- 問14 メダカのとメスのしりびれは、どのような形をしていますか。
- 問15 メダカの受精では、めすがうんだたまごに、おすが何をかけることでたまごと結びつきますか。
- 問16 メダカのとまごが受精してから6日目になると、たまごの中で特によくわかるようになる変化は何ですか。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え すいそう 水槽の底の方でじっとしている。	かえったばかりのメダカは、おなかにある袋の養分 <small>ふくろ</small> を使って育つため、最初は水槽 <small>すいそう</small> の底の方でじっとしています。
問2	答え じゅせいらん 受精卵	めすが水草にうみつける、受精したたまごのことを受精卵 <small>じゅせいらん</small> といいます。
問3	答え ちよくしゃにっこう 直射日光の当たらない明るい場所	メダカを飼うときは、水温を適切に保つために、直射日光 <small>ちよくしゃにっこう</small> の当たらない明るい場所 <small>すいそう</small> に水槽を置きます。
問4	答え おなかに栄養のいったふくらみを持っているから。	かえったばかりのメダカの子は、おなかに栄養のいったふくらみ <small>ふくろ</small> （袋）があるため、数日間 はえさを食べなくても生きていくことができます。
問5	答え オスとメス	メダカに卵を産ませるためには、オスとメスを一緒に飼う必要があります。
問6	答え 受精	めすがうんだたまごに、おすが精子をかけて結びつくことを受精といいます。
問7	答え せびれとしりびれ	メダカのおすとめすは、せびれとしりびれの形にちがいががあるため、これらで見分けることができます。
問8	答え かえって2~3日すると動き出すため。	メダカの子どもはたまごからかえって2~3日すると動き出すため、そのタイミングに合わせてえさを与え始めます。
問9	答え たまごの中での変化	受精したたまごの中では、だんだんとメダカらしい姿 <small>すがた</small> に変化していきます。これをたまごの中での変化といいます。
問10	答え おすとめす	メダカにたまごを産ませるためには、おすとめすを同じ水そうでいっしょに飼う必要があります。
問11	答え そう眼実体けんび鏡	両目で見ることで、観察するものを立体的に見ることができる顕微鏡 <small>けんびきょう</small> を「そう眼実体けんび鏡」といいます。
問12	答え 親のメダカに食べられてしまうことがあるから	受精卵 <small>じゅせいらん</small> をそのままにしておくと、親のメダカに食べられてしまうことがあるため、別の容器にうつして守ります。
問13	答え 6日目	メダカの子は成長が進み、受精して6日目になると心臓 <small>しんぞう</small> の動きや血液の流れがはっきりと見えるようになります。
問14	答え 丸みを帯びて、後ろに向かって細くなっている形	メダカの子のしりびれは、オスのように大きくなく、丸みを帯びて後ろに向かって細くなっているのが特徴 <small>とくちょう</small> です。
問15	答え 精子	受精は、めすがうんだたまごにおすが精子をかけることで、たまごと精子が結びつくことです。
問16	答え しんぞう 心臓や血液の流れ	受精して6日目になると、たまごの中で心臓 <small>しんぞう</small> が動き、血液が流れる様子がよく観察できるようになります。

- 問1 たまごからかえったばかりのメダカは、最初は水槽すいそうの中でどのように過ごしますか。
- 問2 メダカのとまごの中で、心臓しんぞうや血液の流れがよくわかるようになるのは、受精してから何日目ですか。
- 問3 水草にうみつけれられた受精卵じゅせいらんを、水草ごと別の容器にうつすのはなぜですか。
- 問4 メダカじゅせいらんの受精卵が成長して、中で子どもの体ができていくあいだ、たまご全体の大きさはどのように変化しますか。
- 問5 たまごからかえったメダカは、2～3か月たつとどのようにになりますか。
- 問6 メダカを飼うときに、水道水をそのまま使わず、1日くみおいた水を使うのはなぜですか。
- 問7 両目で見ること、観察するものを立体的に見ることができる顕微鏡けんびきょうはどれですか。
- 問8 両目のレンズでのぞくことで、観察するものを立体的に見ることができる、倍率が20倍から40倍の顕微鏡けんびきょうを何とといいますか。
- 問9 メダカにとまごを産ませるために、水そうの中でいっしょに飼わなければならない組み合わせはどれですか。
- 問10 メダカのとまごが育って子メダカが誕生たんじょうするとき、たまごの中のようすはどのようにになりますか。
- 問11 双眼実体顕微鏡そうがんじつたいけんびきょうを使って観察するとき、ものの見え方はどのようにになりますか。
- 問12 メダカさんらんの産卵が行われたすぐ後、たまごはどのようにになりますか。
- 問13 めすのとまごのひれには、どのような特徴とくちょうがありますか。
- 問14 受精したばかりのメダカのとまごのまわりで見られる、水草などにくっつくためのつくりを何とといいますか。
- 問15 メダカたまごにとまごを産ませるために、水槽すいそうの中に入れておく必要があるものは何ですか。
- 問16 おすとめすが体をすり合わせて、めすがたまごを産み、おすが精子を出す一連の行動を何とといいますか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え すいそう 水槽の底の方でじっとしている。	かえったばかりのメダカは、おなかにある袋の ^{ふくろ} 養分を使って育つため、最初は水槽 ^{すいそう} の底の方でじっとしています。
問2	答え 6日目	メダカのたまごは成長が進み、受精して6日目になると心臓 ^{しんぞう} の動きや血液の流れがはっきりと見えるようになります。
問3	答え 親のメダカに食べられてしまうことがあるから	^{じゅせいらん} 受精卵をそのままにしておくと、親のメダカに食べられてしまうことがあるため、別の容器にうつして守ります。
問4	答え ほとんど変化しない	メダカ ^{じゅせいらん} の受精卵は、中で成長が進んで体ができていっても、たまご全体の大きさはほとんど変化しません。
問5	答え 親と同じくらいの大きさにまで成長する。	たまごからかえったメダカは、2〜3か月すると親と同じくらいの大きさにまで成長します。
問6	答え 水道水 ^{ふく} に含まれる消毒薬をなくすため	水道水に入っている消毒薬はメダカによくないため、1日くんでおくことで消毒薬をなくしてから使います。
問7	答え そうがんじつたいけんびきょう 双眼実体顕微鏡	両目で見ることで、観察するものを立体的に見ることができる顕微鏡 ^{けんびきょう} を双眼実体顕微鏡 ^{そうがんじつたいけんびきょう} といます。
問8	答え そう眼実体けんび鏡	両目で見ることで、観察するものを立体的に見ることができる顕微鏡 ^{けんびきょう} を「そう眼実体けんび鏡」といいます。
問9	答え おすとめす	メダカにたまごを産ませるためには、おすとめすを同じ水そうでいっしょに飼う必要があります。
問10	答え ようすが変化しながら育つ	受精したメダカ ^{たんじょう} のたまごは、たまごの中でようすが変化しながら育ち、約2週間で子メダカが誕生します。
問11	答え 上下左右が実物と同じ向きに見える。	^{そうがんじつたいけんびきょう} 双眼実体顕微鏡では、上下左右の見え方は実物と同じ向きになります。
問12	答え めすのはらにくつつく	メダカ ^{さんらん} の産卵のすぐ後、たまごはめすのはらにくつつきます。
問13	答え せびれに切れこみがなく、しりびれの後ろが短い。	めすのメダカは、せびれに切れこみがなく、しりびれの後ろが短くなっていることで、おすのメダカと見分けることができます。
問14	答え ^{じゅせいらん} メダカの受精卵の毛	受精した直後のメダカ ^{じゅせいらん} のたまごのまわりには、細い毛が生えています。これをメダカ ^{じゅせいらん} の受精卵 ^よ の毛と呼びます。
問15	答え 水草	メダカ ^{たまご} に卵を産ませるためには、水槽 ^{すいそう} の中に水草を入れる必要があります。
問16	答え ^{さんらん} メダカの産卵	おすとめすが体をすり合わせて、めすがたまごを産み、おすが精子を出す行動をメダカ ^{さんらん} の産卵 ^{さんらん} といます。